

■常陸山谷右衛門
ひたちやまたにえもん
佐賀の乱・・・1874＝

力士。梅ヶ谷とともに黄金時代を築き、「相撲大鑑」を著して引退後も、相撲界の向上に尽くした。

茨城県水戸で、代々藩主の弓・剣道の師範をしてきた武道家の長男に生まれた。

明治14年政変1881＝ 7歳：

岩倉具視没・1883＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝15歳：水戸中学3年で中退し、
帝国議会始・1890＝16歳：東京専門学校受験のため上京したが、叔父に勧められて同郷出羽海の下となり、
足尾鉋毒始・1891＝17歳：御西山で初土俵。
大本教・・・1892＝18歳：
郡司千島探検1893＝19歳：師名の常陸山と改めた。
日清戦争始・1894＝20歳：幕下のとき一時脱走したが、

八幡製鉄始・1897＝23歳：帰参してから頭角を現し、
十両を1場所で突破して、
Bushidou・・・1899＝25歳：入幕。

田中正造直訴1901＝27歳：*大関。

日比谷公園・1903＝29歳：*梅ヶ谷藤太郎とともに横綱免許を受けた。
身長174cm、体重146kgの堂々たるアンコ型で、相手の差し手を決めて寄り切る豪放な取口で知られ、
日露戦争終・1905＝31歳：<日露戦争>勝利を背景に、
梅ヶ谷と並んで“梅・常陸”時代といわれる相撲黄金時代を築き、この人気から両国国技館が建てられた。

韓国併合・・・1910＝36歳：
相撲界で希に見る教養人で、力士社会の地位を向上させ、
明治天皇没・1912＝38歳：
幕内16年31場所中負けはわずか15個、世に“角聖”といわれ、
第一次大戦始1914＝40歳：*「相撲大鑑」を著して引退。
師の出羽海を継いで筆頭取締にあげられ、
21ヶ条要求・1915＝41歳：力士団を率いてアメリカ巡業に出かけるなど、

相撲界の向上に尽くすとともに角界随一の大部屋を率いて、大錦、栃木山、常ノ花の3横綱を育てたが、
ベルサイユ条約・1919＝45歳：

原敬首相暗殺1921＝47歳：
水平社結成・1922＝48歳：敗血症のため没した。